



カルソニックカンセイとマニエッティ・マレリ、
経営統合により世界有数の独立自動車部品メーカーに

- 統合後の新会社は、「マニエッティ・マレリ CK ホールディングス」*の名前で事業を運営
- マニエッティ・マレリ CK ホールディングスの売上高は、152 億ユーロ(約 1 兆 9,750 億円¹⁾)となり、独立系では世界 10 位に入る自動車部品メーカーに
- FCA はマニエッティ・マレリ CK ホールディングスと間で複数年にわたる製品供給に合意する予定で、これは新会社がマニエッティ・マレリのイタリアにおける事業と生産拠点および雇用の維持を企図した証左である
- カルソニックカンセイの現本社は引き続き埼玉県さいたま市に残り、新会社は現在のマニエッティ・マレリの事業本部をイタリアのミラノのコルベッタに維持
- マニエッティ・マレリの売却額は、株式価値で 62 億ユーロ(約 8,060 億円¹⁾)

フィアット・クライスラー・オートモービル・N.V. (「FCA」) (NYSE: FCAU/MTA: FCA) は、本日、マニエッティ・マレリ S.p.A. (「マニエッティ・マレリ」) を、日本有数の自動車部品メーカーであるカルソニックカンセイ株式会社 (「カルソニックカンセイ」) の完全親会社である CK ホールディングス株式会社 (「CK ホールディングス」) に売却することを発表しました。本取引の完了後、CK ホールディングスは、マニエッティ・マレリ CK ホールディングス* に商号変更し、カルソニックカンセイとマニエッティ・マレリの事業の統合により、総売上高では世界第 7 位の独立系自動車部品メーカーが誕生します。

合意されたマニエッティ・マレリの株式価値は 62 億ユーロ(約 8,060 億円¹⁾)となる予定です。本取引は、規制当局の承認及び一般的な買収条件の充足を前提として、2019 年上半期中に完了する予定です。

本取引は、合計売上高が 152 億ユーロ(約 1 兆 9,750 億円¹⁾)となる、世界有数の独立した自動車部品メーカーを生む画期的なものです。また、世界的ネットワークを持つ独立したティア1サプライヤーを目指すカルソニックカンセイとマニエッティ・マレリの両社の戦略目標に向けた大きな第一歩でもあります。

統合後の新会社は、規模、強固な財務基盤、並びに製品ライン及び事業エリアの相互補完により、世界中の顧客に対してサービスを提供する体制を確立します。また、約 200 力所以上の工場や研究開発センターを欧州、日本、米州、そしてアジア太平洋地域に有することになります。

* 株主の承認を経て決定予定

¹ 1 ユーロ=130 円で換算



FCA とは複数年の部品供給契約を締結することで合意しており、これによりマニエッティ・マレリのイタリアでの事業と製造拠点が維持され、将来にわたる成長と成功をたらすものとなります。

統合後の新会社は、カルソニックカンセイの現 CEO であるベダ・ボルゼニウスが日本を拠点に経営にあたる予定です。マニエッティ・マレリの CEO であるエルマンノ・フェラーリーは、マニエッティ・マレリ CK ホールディングス*の取締役役に就任する予定です。

今回の統合に関して、FCA の CEO である、マイク・マンレーは以下のように述べています。

「マニエッティ・マレリが次のステージへと飛躍する可能性を十分に発揮できるような選択肢を慎重に検討した結果、カルソニックカンセイとの統合が、お客様、そして従業員にとって、マニエッティ・マレリの将来の成長を加速させる観点で、最も理想的な機会だと考えるに至りました。統合後も、同社は FCA にとって最も重要な取引先であり、今後も両社の関係が一層強化されることを期待しています。今回の統合は、マニエッティ・マレリの戦略的な価値が認められたものであり、価値を創造していくという、当社の不断の努力の成果だと思えます」

カルソニックカンセイの CEO である、ベダ・ボルゼニウスは以下のように述べています。

「われわれの業界は、大きな変革の時期を迎えており、今後も一層の激動が続くことと思われま。そのような中、カルソニックカンセイとマニエッティ・マレリが統合し、世界 10 位に入る競争力のある自動車部品サプライヤー企業を形成することに非常に期待しています。両社にとっては拠点、製品ラインが補完されることとなり、また、両社のお客様にとっても新会社が人材やプロセス、また、革新的な新製品の開発に一層投資することで大変意義のある統合になると思えます」

マニエッティ・マレリの CEO である、エルマンノ・フェラーリーは以下のように述べています。

「マニエッティ・マレリ、カルソニックカンセイの両社は、グローバルで幅広い製品ラインと事業エリア、専門的知見と将来の可能性をもたらす、画期的な日を迎えることができました。全ての従業員が、安定性と成長性を持つ、情熱と希望そして自信にあふれた独立した大企業の一員となる素晴らしい機会となりました」

以上

2018 年 10 月 22 日、ロンドン



カルソニックカンセイについて

カルソニックカンセイは、埼玉県さいたま市に本社を構え、自動車のサーマル製品、排気システム、内装や電子製品を生産する総合自動車部品メーカーです。同社は、KKR のポートフォリオ企業であり、本年設立 80 周年を迎えました。2018 年 3 月期の連結売上は 9,986 億円でした。

カルソニックカンセイ株式会社に関する詳細情報はウェブサイト www.calsonickansei.co.jp をご覧ください。

マニエッティ・マレリについて

マニエッティ・マレリは、1919 年に設立されたミラノのコルベッタに本社を構える世界有数の自動車部品メーカーで、ライティング、パワートレイン、電子製品、排気、サスペンション、ショックアブソーバー、モータースポーツ関係を得意分野としています。同社は、1967 年以降、FCA およびその前身の会社の子会社であり、2017 年度の売上高は 82 億ユーロ(1 兆 660 億円)でした。



お問い合わせ先

カルソニックカンセイ広報代理 フィンズベリー

Calsonic.kansei@finsbury.com

日本:

ニコラ・マッガーワン +81 (0)70 3857 8699

岡本彩子 +81 (0)80 9898 5591

イタリア:

コミュニティ・グループ

Auro Palomba auro.palomba@communitygroup.it

Pasquo Cicchini pasquo.cicchini@communitygroup.it